



## 平成 22 年度決算の概要

## I 貸借対照表

資産総額は、固定資産が 88 億 6 千 5 百万円、流動資産 4 億 6 千 1 百万円の 93 億 2 千 7 百万円で、前年度に対して 2 億 9 千 4 百万円（3%）の減少となっています。主な要因は、減価償却（損益外減価償却費を含む）によるものです。

資産のうち、有形固定資産が 95% を占め、このうち県から出資等を受けた土地・建物・構築物が 80 億 8 千 9 百万円で 87% を占めている点が大学の貸借対照表の特徴です。

負債は、固定負債が 13 億 2 千 5 百万円、流動負債が 2 億 6 千 5 百万円の総額 15 億 9 千万円で、前年度に対して 8 千 4 百万円（5%）の減少となっています。主な要因は、県から無償譲渡された資産の減価償却によるものです。

なお、資産見返負債（注 1）が 13 億 2 千 5 百万円と負債総額の 83% を占めており、また、流動負債では、未払金が 1 億 7 千 2 百万円と 65% を占めています。

純資産の部の総額は、77 億 3 千 7 百万円で、前年度に対して 2 億 1 千万円（3%）の減少となっています。その主な要因は、利益剰余金が 2 千万円減少したこと及び、県から出資された建物の減価償却による損益外減価償却費（注 2）が 2 億 2 百万円増加したことによるものです。

(単位:百万円)

資産の部	22年度	21年度	増減	負債の部	22年度	21年度	増減
固定資産	8,865	9,124	▲ 259	固定負債	1,325	1,383	▲ 58
有形固定資産	8,847	9,111	▲ 264	資産見返負債	1,325	1,377	▲ 52
(土地)	1,436	1,443	▲ 7	長期リース債務	0	5	▲ 5
(建物)	6,091	6,289	▲ 198	流動負債	265	290	▲ 25
(構築物)	569	619	▲ 50	(うち未払金)	172	169	3
(工具器具備品等)	40	66	▲ 26	負債合計	1,590	1,674	▲ 84
(図書)	708	692	16	純資産の部	22年度	21年度	増減
無形固定資産	18	13	5	資本金	8,530	8,530	0
流動資産	461	497	▲ 36	資本剰余金	▲ 984	▲ 793	▲ 191
現金及び預金	435	478	▲ 43	利益剰余金	191	211	▲ 20
未収入金等	26	18	8	純資産合計	7,737	7,947	▲ 210
資産合計	9,327	9,621	▲ 294	負債純資産合計	9,327	9,621	▲ 294

注) 表示単位未満については切り捨て表示しています。

注 1 資産見返負債とは固定資産を取得した場合に相当する財源を振り替え、当該資産が費用化（減価償却費）される時点において資産見返負債戻入として収益化する会計処理のための勘定です。

注 2 県から出資された教育・研究用の建物は、減価償却費に見合う収益の獲得が見込めないことから、減価償却処理を損益計算書に反映させず、損益外減価償却費として資本剰余金から控除する取り扱いになっています。

## II 損益計算書

経常費用は、業務費が16億9千7百万円、一般管理費が2億5千3百万円、財務費用が1百万円の総額19億5千2百万円で、前年度に対して5千1百万円（2.7%）の増加となっています。その主な要因は、研究経費及び役員・職員人件費が減少しましたが、教員人件費及び一般管理費が増加したことによるものです。

なお、業務費において最も大きな割合を占めているのが教員人件費（65%）、また、一般管理費において最も大きな割合を占めているのが、施設維持管理にかかる報酬・委託・手数料（32%）となっています。

経常収益は、運営費交付金収益が9億8千4百万円、授業料・入学料・検定料の学生等納付金収益が7億3千2百万円等の総額19億2千万円で、前年度に対して3千2百万円（2%）の減少となっています。その主な要因は、運営費交付金の減少により運営費交付金収益が2千4百万円減少したことによるものです。また、本年度においては、国道322号線拡張工事に伴い、物件移転補償金等を受領したため、2千8百万円の臨時利益を計上しています。

（単位:百万円）

費用の部	22年度	21年度	増減	収益の部	22年度	21年度	増減
経常費用	1,952	1,901	51	経常収益	1,920	1,952	▲ 32
業務費	1,697	1,663	34	運営費交付金収益	984	1,008	▲ 24
教育経費	150	154	▲ 4	授業料収益	585	583	2
研究経費	95	109	▲ 14	入学金収益	121	126	▲ 5
教育研究支援経費	33	32	1	検定料収益	26	26	0
受託研究費等	3	2	1	受託研究等収益	3	2	1
受託事業費等	82	79	3	受託事業等収益	82	81	1
役員人件費	39	44	▲ 5	寄附金等収益	4	0	4
教員人件費	1,107	1,052	55	資産見返負債戻入	70	81	▲ 11
職員人件費	184	189	▲ 5	財務収益	0	1	▲ 1
一般管理費	253	235	18	雑益	41	39	2
財務費用	1	2	▲ 1	臨時利益	28	0	28
雑損	0	0	0	当期純損益	▲ 7	52	▲ 59
臨時損失	3	0	3	目的積立金取崩額	45	11	34
				当期総利益	37	63	▲ 26

注) 表示単位未満については切り捨て表示しています。

収益から費用を差し引いた差額である当期純損失は7百万円で、当期総利益は当期純損失に目的積立金取崩額4千5百万円を加算した3千7百万円です。前年度に対して2千6百万円（41%）減少しました。